

第 84 回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 日時:2019 年 2 月 28 日(木)10 時 00 分～11 時 10 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第 1・第 2 会議室
3. 出席者:細田委員長、鬼沢委員、菅原委員、村上委員、山下委員 以上 5 名
その他 経済産業省・環境省担当官、公益財団法人自動車リサイクル促進センター役職員が出席
4. 議題:①2018 年度第 3 四半期の概況【報告事項】
②2018 年度第 3 四半期の決算【報告事項】
③2018 年度第 3 四半期の運用実績【報告事項】
④2019 年度事業計画【諮問事項】
⑤2019 年度収支予算【諮問事項】
⑥2019 年度特預金の出えん等計画【諮問事項】
⑦2019 年度運用計画【諮問事項】
⑧監査室による資金管理センターに対する内部監査の結果【報告事項】
⑨ユーザー理解活動の取組状況【報告事項】

5. 議事録

(1)議題①について

2018 年度第 3 四半期の概況について、事務局から資料「第 84 回 資金管理業務諮問委員会」の 3～4 ページにて報告した。

<主な意見>

なし

(2)議題②について

2018 年度第 3 四半期の決算について、事務局から同資料の 5～11 ページにて報告した。

<主な意見>

なし

(3)議題③について

2018 年度第 3 四半期の運用実績について、事務局から同資料の 12～14 ページにて報告した。

<主な意見>

なし

(4) 議題④について

2019年度の事業計画について、事務局から同資料の15～19ページにて説明し、原案のとおり承認された。

<主な意見>

【委員A】

2019年度の新車時預託台数の想定に関して、ハイブリッド車が占める比率は多くないのか。

【事務局】

新車時預託台数の想定に活かせるハイブリッド車に関するデータがないため、考慮することができなかった。

(5) 議題⑤について

2019年度の収支予算について、事務局から同資料の20～30ページにて説明し、原案のとおり承認された。

<主な意見>

【委員A】

経済成長が著しいアフリカでは自動車の需要が増える可能性があるが、アフリカ向けの輸出返還台数は増えているのか。

【事務局】

近年アフリカ向けの輸出返還台数は増えており、2019年度の収支予算についてもアフリカ向けの輸出返還台数が増加するという前提で作成している。

(6) 議題⑥について

2019年度の特預金の出えん等計画について、事務局から同資料の31～40ページにて説明し、原案のとおり承認された。

<主な意見>

【委員B】

大規模災害への対応について、2020年度以降、自治体向けの説明会等を増やすか否かは、2019年度の活動状況を受けて決めるのか。

【再資源化支援部】

自治体からの要望を受けて、2020年度以降の活動を決めていく。なお、2018年度の実績としては12か所の説明会と4か所の研修会を実施し、2019年度は15か所の説明会と5か所の研修会の実施を予定している。

【委員B】

不法投棄等対策支援事業の拡充について、環境省が内容及び候補自治体を選定する事業を、2018年度実施できなかった理由は何か。

【環境省】

具体的に自治体と協議を進めていたが、事業者側の事情変更により、実施することがで

きなくなった。2019年度以降は自治体に広く案内したり、モデル事業の内容を再検討したりする。

(7) 議題⑦について

2019年度の運用計画について、事務局から同資料の41～44ページにて説明し、原案のとおり承認された。

<主な意見>

【委員C】

2019年度に取得する予定の地方債及び財投機関債30億円は、年間の取得総額のうち4%に満たない金額であり、保有債券全体に占めるリスク量もほとんど変わらない。また、流動性についても、30億円程度であれば問題なく購入できると思われる。安全性を優先させた限定的な投資であること及び公益財団の性格等を鑑みると、問題ないと評価する。

【委員D】

住宅金融支援機構が発行する予定のグリーンボンドは年限20年なのか。

【事務局】

2018年度の発行実績によれば年限20年であるが、2019年度の発行計画は明らかにされていない。

(8) 議題⑧について

監査室による資金管理センターに対する内部監査の結果について、監査室から同資料の45ページにて報告した。

<主な意見>

【委員A】

かつては帳票類の取扱いについて指摘を受けたこともあったと記憶しているが、今回はミスがなかったということか。

【監査室】

問題となるようなミスはなかった。

(9) 議題⑨について

ユーザー理解活動の取組状況について、広報・理解活動推進部から別冊「(報告)ユーザー理解活動の取組状況」にて報告した。

<主な意見>

【委員A】

大阪市に常設展示ブースを開設できたことは素晴らしいことである。このように常設できる拠点をを見つけるのは大変ではないか。

【広報部】

現在も様々なルートを通じて情報収集を行っているが、常設できる拠点は少ないようである。

【委員A】

都市部で報告いただいた映像を視聴する場合、BSデジタル放送になるのか。

【広報部】

はい。都市部では、主としてBSデジタル放送にて配信している。一方、地方では、当該地域の地上デジタル放送にて配信している。

以上